

東大EMP第21期プログラム 最終報告発表 概要

(2019年9月14日)

チーム・メンバー	課題テーマ	タイトル	概要
<p>[チーム2] 浦出 陽子 垣本 昌久 曾呂利 忠弘 永田 一穂 丹羽 祐輔</p>	<p>資源・エネルギー活用 の規律による環境保全</p>	<p>地球を救う持続可能な社会を 地域から ～ 自律分散型共同体ネット ワーク“むすび”～</p>	<p>大量生産・消費により豊かさを手に入れた我が国が、その豊かさを維持しつつ二酸化炭素排出量を80%削減するためのシナリオを探る。 現在、技術及び経済の観点から二酸化炭素排出量の80%削減の実現可能性は高まってきたが、現場実装の点では課題が山積している。Tipping Pointの手前で正しい方向へ舵を切るため、我が国の特性を活かしたシステムのデザインと実行可能な具体策を提示する。</p>
<p>[チーム3] 安達 晋 岩田 松雄 田頭 壮一 三善 由幸 渡邊 淳</p>	<p>経済・金融分野の貢献 と影響力の制御</p>	<p>やってみよう主義経済 ～プラグマティズムによる社会 システムデザインへ～</p>	<p>日本経済が中国に負けている。その理由としては、日本における意思決定の遅さがある。一方で、独裁的な制度による中国の政策運営は一時的にはうまく行っているものの、長期的には不安定となるリスクを抱えている。 そこで、日本の取るべき針路として、あくまで民主的な制度を維持しながら、立ち止まることなく、新しい仕組みに挑戦し、成功・失敗を見極め、より良い制度へ改善し続ける枠組みを提案したい。</p>
<p>[チーム4] 影浦 智子 草野 晃 佐藤 麻衣子 嶋原 正仁 高山 賢洋 山中 正人</p>	<p>多様な宗教、文化、政治 を前提とした共通行動 規範確立</p>	<p>～ 分断への処方箋 ～ 他者との違いを受け容れる心</p>	<p>世界の至る所で格差と分断が叫ばれて久しいが、有効な解決が図られるどころか、格差と分断は悪化する一方に思われる。 我々は、「格差とは何か?」、「分断とは何か?」を問い直し、今、解決すべき課題は「分断」であるとの考えに至ったため、「分断」を防ぐ処方箋としての共通行動規範(他者との違いを受け容れる心)について提案する。</p>
<p>[チーム5] 大島 千世子 木村 幹夫 永田 真彦 速水 康喜 前田 真由美 松本 昌昭</p>	<p>先端科学・技術の効用 前提での新世界観の 形成</p>	<p>ミライに向けて頭のOSを アップデートしよう</p>	<p>科学と技術の発展を通じてグローバルに統一された資本主義経済の下、私たちは国際的な分業による生産力の向上を通じて、かつてない繁栄の時代に生きているにも関わらず、私たちは現在多くの問題に直面し、解決できていない。 私たちが直面する問題を解決できない背景には、私たちの行動原理や世界観、即ちOSが、テクノロジーの発達や社会の変化に対応できていないためである。 私たちはOSをアップデートすることで、人類社会全体をより良く変えていくことが出来る。</p>